

ホルムズ海峡の重要性

研究主幹 村井 美恵

世界最大級のエネルギーのチョークポイント

ホルムズ海峡はペルシア湾とオマーン湾の間にある海峡。世界の海上貿易量において石油・石油製品では1/4以上、LNGでは約1/5が通過する世界最大級のエネルギーのチョークポイントである。海路の迂回ルートはなく、陸上での代替輸送手段も限られる。幅は最も狭いところで34kmだが、通行可能な航路の幅は片側約3kmと限定的。通過する石油（注1）、LNGとも8割強が中国、インドを中心とするアジア向け。（数字は2024年）（注1）コンデンセート（常温で液体の天然ガス）を含む

ホルムズ海峡封鎖の意味

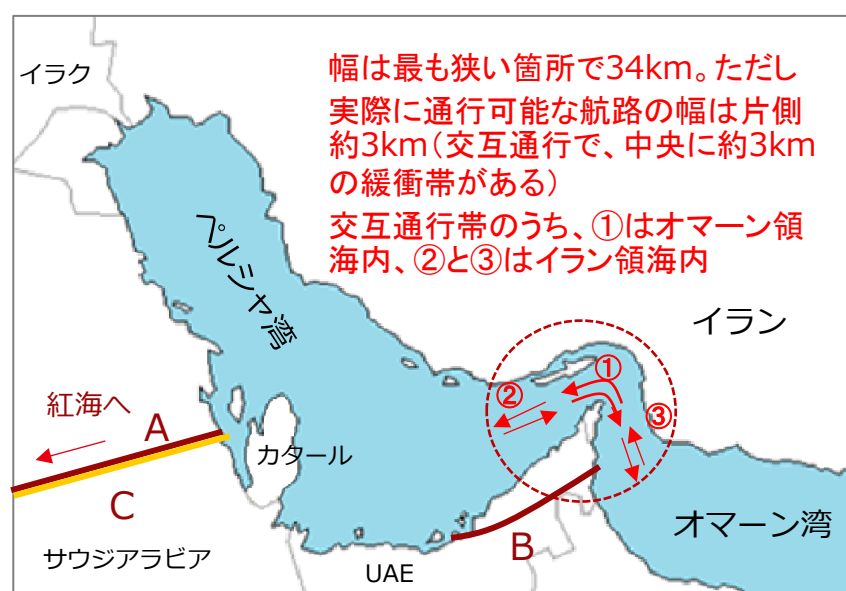
ホルムズ海峡はイランに面し、航路の一部はイラン領海内を通る。そのため、同国をめぐる紛争時には、対抗手段の一つとして、幾度となく封鎖の可能性が観測されてきた。イランは、ミサイルやドローンなどによる船舶攻撃、機雷敷設、航路への船舶沈没など、物理的封鎖の手段を持つとされるが、実際に封鎖に至ったことはない。封鎖となれば、エネルギー市場の混乱に対する国際社会からの批判に加え、周辺に基地を配備する米国との直接対立は避けられない。また、イラン自身の輸出も同海峡経由であるため、最大輸出先である中国からの圧力は必至で、封鎖が長期に至る可能性は低い。そのため、イランによるホルムズ海峡封鎖の示唆は、報復攻撃の能力と意思を示す、攻撃の抑止力としての役割が大きい。一方、封鎖カード行使の可能性はゼロではない上、封鎖に至らずとも航行の妨害は過去に発生しており、国際社会は警戒を続けざるを得ない。

原油価格への影響と今後の注目点

6月13日に始まったイスラエルの攻撃により原油価格は急騰、22日の米軍によるイランの核施設攻撃を受けて翌営業日に、中東の影響を反映しやすいブレントは一時80ドル超まで上昇した。しかし、翌日のイランの報復が抑制的なものに留まったことを受け、攻撃前の価格まで急落。原油市場は供給過剰観測に加え、OPECプラスの余剰生産能力や国際エネルギー機関加盟国の備蓄もあり、実際の供給に支障が出ない限り、上昇はあったとしても一時的なものに留まる可能性が高そうだ。一方、ホルムズ海峡が閉鎖された場合、価格は100ドル超まで上昇するとの見方も。また、保険料や運賃は、現物の供給に影響がなくとも危機感の高まりだけで急騰する可能性がある。ホルムズ海峡封鎖はイランにとってもデメリットが大きく、実現可能性は高くなさそうだ。しかし、体制崩壊の危機に直面した場合にイランが取りうる選択肢から外すことは難しい。また、敵対国と友好的な国の船舶に対する攻撃や、航行船舶の保険引き受けが難しくなるなど、より実現性の高いリスクも存在する。引き続き同海峡をめぐる状況を注視する必要があるだろう。

▽ホルムズ海峡と周辺パイプラインの状況

ホルムズ海峡を迂回するパイプライン



名 称	輸送能力
A. East-West Crude Oil Pipeline (Petroline)	5.0
B. Abu Dhabi Crude Oil Pipeline	1.5
C. Abqaiq-Yanbu NGL Pipeline	0.3
合計	6.8
うち、有効未利用能力（推定）	2.6

ホルムズ海峡通過量（2024年）

原油（コンデンセート含む）	14.3
石油製品	5.9
合計	20.2

（注）輸送能力、ホルムズ海峡通過量の単位は日量100万バレル

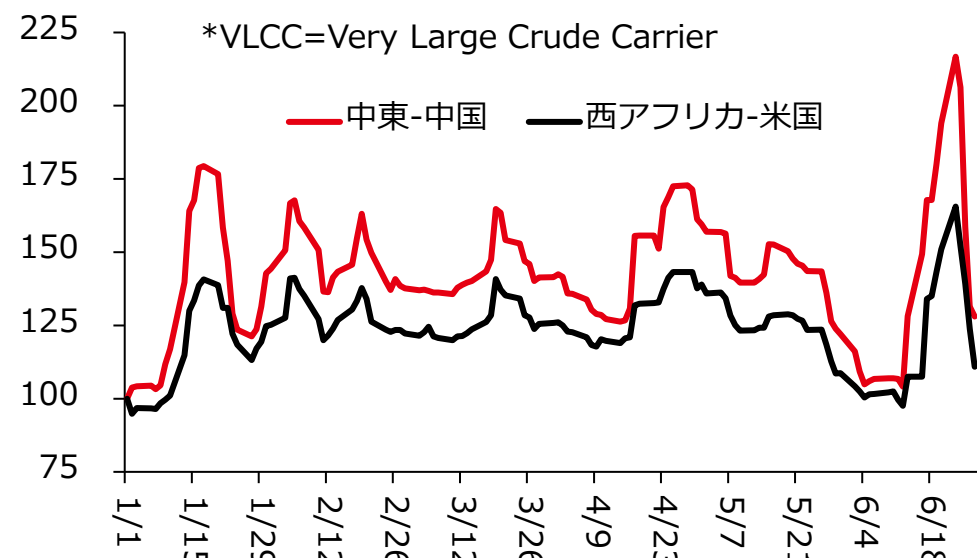
（出所）米エネルギー情報局（[2025.6.16](#)）、各種報道を基に丸紅経済研究所作成

▽ブレント原油価格（2025年）



（出所）LSEG、各種報道を基に丸紅経済研究所作成

▽VLCC*タンカー運賃（2025年年初＝100）



（出所）LSEGを基に丸紅経済研究所作成

(執筆者プロフィール)

村井 美恵 (Mie Murai)

Murai-M@marubeni.com

管理部長、研究主幹

研究分野：商品市況

丸紅株式会社入社後、軽金属部にてアルミニウムの現物・先物トレードに14年間従事。2008年から丸紅経済研究所にて商品市況を担当。津田塾大学学芸学部国際関係学科卒業。

株式会社丸紅経済研究所

〒100-8088 東京都千代田区大手町一丁目4番2号

<https://www.marubeni.com/jp/research/>

(免責事項)

- 本資料は公開情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性、相当性、完全性を保証するものではありません。
- 本資料に従って決断した行為に起因する利害得失はその行為者自身に帰属するもので、当社は何らの責任を負うものではありません。
- 本資料に掲載している内容は予告なしに変更することがあります。